

国内トップランナー規制に対応したモータ「プレミアム効率シリーズ」 累計出荷台数 20,000 台を達成

東芝三菱電機産業システム株式会社(以下、TMEiC)(社長:川口 章)は、2014年4月から発売してきた低圧中大容量のトップランナーモータ「プレミアム効率シリーズ」が2022年8月に累計出荷台数20,000台を達成しました。

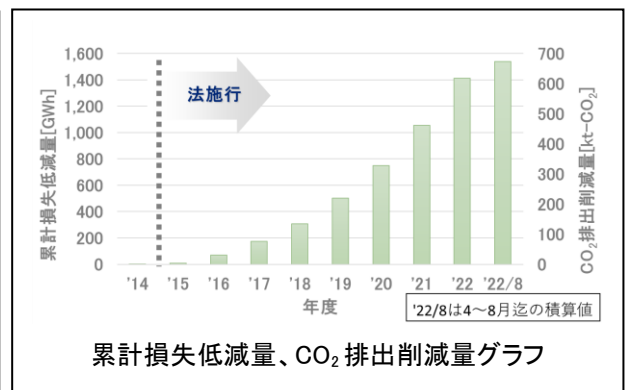
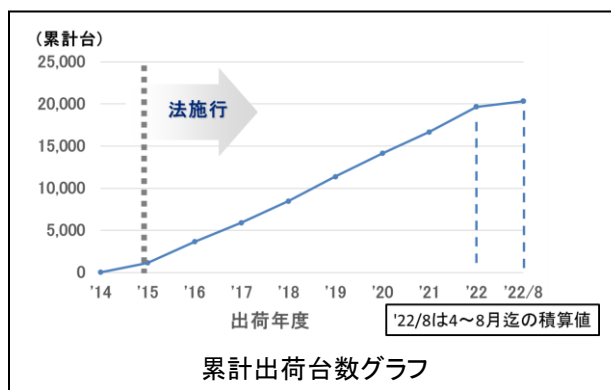
国内においては大小さまざまなモータが使用され、その普及台数は約1億台とされており、その年間消費電力は、国内の全消費電力量の約55%^{*1}にあたります。モータは多くのエネルギーを消費する機器となっていることから、国内省エネ法改正によりモータを対象とするトップランナー規制が2015年4月施行されています。

TMEiCは2014年4月にIE3(プレミアム効率)に対応した「プレミアム効率シリーズ」を発売しました。同シリーズは、世界最高水準の高効率・軽量化を実現しており、55kW~最大容量375kWをラインアップしています。8年間で出荷された20,000台のモータによる消費電力の削減量(IE1標準効率モータ比)は累計で約1,500GWh、CO₂排出削減量は約670kt-CO₂/年^{*2}を達成しました。(2022年8月時点)

TMEiCは、100年を超えるモータ開発の知見と技術力を活かし、更なる省エネ化を狙った次世代高効率モータの開発に継続的に取り組んでいます。新たに開発したIE4(スーパープレミアム効率)シリーズは、これまで主流であった永久磁石モータに代わりに、誘導モータでIE4効率を実現、55kW~375kWまでラインアップしています。また、IE5(ウルトラ効率)^{*3}シリーズとして、永久磁石を使用しないリラクタンسモータ(75kW~160kW)も製品化しています。TMEiCは、今後も高効率モータの開発・普及に努め、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

執行役員 回転機システム事業部長 岩永英樹 コメント:

「TMEiCは、改正省エネ法施行前より省エネモータの開発・普及に取り組んでまいりました。今後もトップメーカーとして更なる高効率なモータの開発・製品化により、お客さまの省エネニーズに応え、カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。」



*1) (出典)「トップランナーモータ」日本電機工業会発行 2015年

*2) CO₂ 排出係数:0.453ton/MWh(R4.1.7 環境省・経済産業省公表代替値)

*3) 効率クラス(IEコード)についての規格 IEC 60034-30-1 より、IE4 に対して約 20%低減した効率レベルが IE5 とされています。

報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 経営企画本部 ブランド企画グループ <https://www.tmeic.co.jp/>

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4319 Fax: 03-3277-4578

TMEIC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレータとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。